



みんなでがんばろう●日本

2023 年度 年次報告書
Children's Future Support Foundation

公益財団法人 子ども未来支援財団



復興支援を通じて、次の世代が幸せに暮らす
社会の創生に貢献する。



子どもたちが夢と希望を育む環境を実現する。

設立～2024年3月末まで



49.59億円



約84,200人と753団体

※詳しい支援活動の内容は、中面をご覧ください。

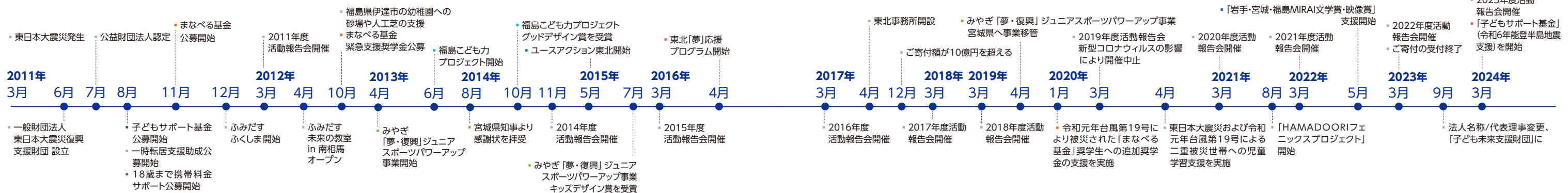
設立～2023年3月末まで



15億8,224万148円
累計24,200人以上

※Yahooネット募金、つながる募金など寄付プラットフォームで寄付頂いた件数は、月単位でまとめて計算される為、実際の累計人数とは異なります。
※寄付の受付は2023年3月末で終了させていただきました。

活動のあゆみ



2023年9月1日付けで公益財団法人東日本大震災復興支援財団から法人の名称変更を行うとともに、
代表理事が交代となりましたのでお知らせいたします。

	新	旧
名称	公益財団法人子ども未来支援財団 Children's Future Support Foundation	公益財団法人東日本大震災復興支援財団 Great East Japan Earthquake Recovery Initiatives Foundation
ロゴ	みんなで がんばろう●日本 公益財団法人 子ども未来支援財団	みんなで がんばろう●日本 公益財団法人東日本大震災復興支援財団
代表理事	秋山 忠正 (あきやま ただまさ)	立石 勝義 (たていし かつよし)

※これまで東日本大震災復興支援財団としてお預かりしている寄付は今後も使途変更は行わず、東日本大震災で被災した子どもの支援のみに使用いたします。
※住所、電話番号、ホームページURL、メールアドレスに変更はありません。
※各種契約に関連する締結法人名に関しては、本通知をもって読替えをお願いします。

ごあいさつ



代表理事
秋山 忠正

2023年9月より、前任の立石勝義の後任として代表理事を拝命いたしました秋山忠正と申します。よろしく願い申し上げます。

本年も公益財団法人子ども未来支援財団の年次報告書をご覧いただき、誠にありがとうございます。13年目の発行となるこの報告書をお届けできることを心より嬉しく存じます。

東日本大震災の復興支援は、まだまだ多くの課題が残されており、長期化しています。私たちはこれまで教育環境の整備や心理的なケアのサポートを目的に、各地の団体様のご協力のもと、その時々に必要な事業を立ち上げ、東北の子どもたちが前向きに未来を見据えることができるよう環境を整える支援をして参りました。しかしながら、被災地の子どもたちの現状は依然として厳しいものがあります。震災の影響で家庭環境が変わり、精神的なストレスを抱える子どもたちも少なくありません。また、教育の機会や経済的な支援が不足している現実も見逃すことはできません。これらの課題に対して、私たちは引き続き寄り添い、東北地域の支援活動の終了まで尽力して参りたいと思っております。

また、これからの私たちの活動の展望として、財団名も「子ども未来支援財団」と一新し、これまでの経験と成果を基に全国的な支援と活動内容を拡大していくことを考えています。その一環として、2024年1月1日に発生しました「令和6年能登半島地震」において、当該地域で子ども食堂を運営する団体への支援を開始いたしました。被災地に住む方々が1日も早く日常を取り戻すことができるよう切に願っております。

最後に、これまで私たちの活動を支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。

皆さまのご理解とご協力があってこそ、私たちはこの道のりを歩んでくることができました。東日本大震災復興支援はあと2年で区切りとなりますが、これから子どもたちが自信に満ち、未来に希望を持つことができる環境を整えることを目指して活動して参りますので、引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事
前田 博隆

人間は大切なことを忘れがちです。

日本の歴史において、自然災害が起こらない年はないのではないのでしょうか。2011年の東日本大震災のような未曾有とまで言われる災害でも、年月が経つとその時に支えたこと、心に誓ったことなど忘れがちになります。大切なことは、東日本大震災を忘れてはいけなく、「困っている人を助け、みんなでがんばろう」という意志だと思います。この国で一人で生きている人はいないと思います。みんなで支え合って日本が成り立っているはず。その中でも一番支える必要があるのは、不測の事態に置かれた子どもじゃないでしょうか。「こどもたちこそ、この国の未来」です。

東日本大震災から始まった財団ですが、東北に限らず自然災害で被災した子どもたちを当たり前のように支える社会を目指し、理事としても尽力いたしますのでこれからもご支援宜しくお願いいたします。

理事
高橋 ゆき

はじめまして。新任理事を務めさせていただきます、高橋ゆきと申します。

あの日から13年の時が経ち、世の中の暮らしにおける、お金・時間の価値観の変化、さらに、人々が助け合いや幸せを意識するようになったと感じます。

当財団の活動を通して、東北の「今」(現状)を知っていただけるよう引き続き支援する活動に取り組んでまいります。

今後とも未来のある子どもたちの明るくWell-beingな日々のため、誰もが夢や希望に満ち、自由な暮らし・生き方ができるよう、お力添えを何卒よろしくお願いいたします。

学べるしあわせをみんなに。
高校生対象給付型奨学金
「まなべる基金」



給付型奨学金 まなべる基金

東日本大震災の影響により家庭の経済状況が変化し、就学や進学が困難、また、経済的な理由により、学校生活に支障をきたす高校生のための返還不要の奨学金制度です。高校入学から卒業までの間、最大63万円を給付しています。高校生向けの給付型奨学金制度が少ない中、進学・就学が困難な状況においても学ぶことをあきらめない高校生を応援し続けています。

支援総額 16.54億円 支援者数 3,287人

※2024年3月までの支給実績額

連携団体
◎NPO法人ジービーパートナーズ



支援への御礼コメント

高校では合唱団に入り、歌を通して震災を伝承する活動を積極的に取り組みました。いただいた奨学金はコンクールの遠征費に充てた他、高校2年の頃から声楽の教室に通い始め、そのレッスン費にも活用しました。高校3年間の経験から得たものは私の人生にとってかけがえのないものです。これからは高校での経験を生かしながら大学で教育や音楽について深く学び、東日本大震災を風化させないためにも教師になりたいと思います。これまで本当にありがとうございました。
(宮城県仙台市出身／2024年3月卒業)

支援活動団体向け助成
子どもサポート基金



子どもたちの成長を支える団体の活動をバックアップ

子どもサポート基金

東北の子どもたちの支援活動に取り組むNPOやボランティア団体への助成を行っています。団体が継続して活動できるよう、複数年にわたる助成を行うとともに、組織の基盤強化をサポートし、希望を持ってたくましく成長できるような健康づくりを推進しています。

支援総額 13.06億円 支援件数 498団体

※2024年3月までの支給実績額

あがいん
AGAIN
ふうどばんく東北

支援への御礼コメント

いつもあたたかいご支援ありがとうございます。栄養満点のお弁当や食材を困っている親子をはじめ、地域の子どもたちに提供し、たくさんの感謝の言葉と笑顔をいただきました。その活動を継続できるのも、ご寄付いただいている皆様のおかげです。今後もよろしくお願いいたします。
(団体名：特定非営利活動法人ふうどばんく東北 AGAIN 活動支援場所：宮城県 富谷市)

従来の「子どもサポート基金」のスキームを利用し能登半島地震における子ども支援を実施

「子どもサポート基金」(令和6年能登半島地震支援)

支援活動団体向け助成
子どもサポート基金
令和6年能登半島地震支援

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の支援として、被災した地域の子どもたちの支援活動を行う団体に助成する「子どもサポート基金」(令和6年能登半島地震支援)を開始しました。

支援総額 1,555万円 支援件数 9団体

※2024年6月25日時点

※本支援は東北支援で預かりした寄付金を充当しておりません



話す・つながるをサポート 18歳まで携帯料金サポート



震災で保護者を亡くした子どもたちが、身近な人々と話し、つながるためのコミュニケーションツールとして携帯電話の料金をサポートしています。子どもたちが18歳になるまでの間、電話会社に関わらず、携帯電話やスマートフォンの料金を月々1万円までお支払いし、子どもたちを含むご家族の経済的な負担を軽減します。

支援総額 2,064万円 支援者数 65人

※2024年3月までの支給実績額



福島県浜通りの未来のための起業家応援事業

HAMADOORIフェニックスプロジェクト



福島県浜通りは、地震と津波、福島第一原子力発電所事故という多重災害により甚大な被害を受け、復興に時間を要しています。HAMADOORIフェニックスプロジェクトは、福島県浜通りで起業したいという地域貢献意識を強くもち、地域のリーダーとなりうる若者を応援するための起業家応援事業です。1期～3期までの18組の若手起業家たちが浜通りに活気を与えています。

支援総額 2.23億円 支援件数 17団体

※第1期～3期生の支援予定金額 ※2024年7月現在の支援団体数

協力団体
◎HAMADOORI13 ※募集受付や交付決定者および団体への伴走などを主体となり実施



支援への御礼コメント

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故から13年が経ちます。福島における東日本大震災は「地震、津波、原発事故」という複合的な災害であり現在も避難指示の続く地域も存在します。まだまだ様々な課題を抱える福島県浜通りですが、みなさまからのあたたかいご支援により、若手起業家が新しい事業をスタートさせ浜通りに新しい希望を生み出してくれています。この地域の子供たちの未来の発展に寄与できるよう引き続き取り組んでまいります。今後ともご支援いただけますと幸いです。
(一般社団法人HAMADOORI13 代表理事 吉田 学)

地域や人と交流しながらさまざまなプログラムに挑戦する

福島こども未来塾



福島県の未来を担う人材の育成を目指し、自然体験や郷土文化の学習、国際交流など、1年をかけて総合的な体験活動を提供しています。仲間と一緒に寝食を共にし、さまざまなチャレンジを重ねながら、福島の未来や自分自身の将来を描きます。

支援総額 8,850万円 支援者数 2,259人

※2024年3月までの支給実績額

主催
◎独立行政法人国立青少年教育振興機構
連携団体
◎一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION
◎NPO法人じぶん未来クラブ など



支援への御礼コメント

参加者の声
・活動の中で、自分たちで考えて行動することが多く、仲間と協力して活動できるようになり、リーダー力がつきました。中学での生徒会長としての活動や、現在の学生団体の活動に生かしているのではないかと思います。
・最初は乗り気ではなかったけれど、面白い同級生や優しい先輩とすぐに仲良くなることができ、早く未来塾の日がきてくれないかとわくわくしていました。今は、ボランティア活動などを行っています。
・福島県のことについて調べ、学習を進めるのを機に、福島県への関心が高まりました。今まで気にしていなかったテレビやネットニュース、新聞記事などの福島県の問題に目を向けるようになり、自分自身でも感じる心の変化でした。

地域と向き合う若者の活動を支援し、東北に活気と変化を創造する

ユースアクション東北



地元の復興や活性化に取り組む高校生や大学生の活動を支援しています。活動費用の助成の他、活動の実現に向けて助言や協力をしてくれる「伴走者」も紹介し、東北に更なる活気が生まれていくことを目指します。

支援総額 528万円 支援件数 37団体

※2023年度活動実績なし

その他の支援活動

将来、東北の復興を担う人材の育成など、他にもさまざまな支援活動を行っています

岩手・宮城・福島 MIRAI 文学賞・映像賞

18歳から33歳の若者を対象に文学および映像を募集し、震災で多大な被害のあった3県の復興創生に寄与する作品を広く周知し、観光・産業分野に貢献することを目指す活動を支援

Spread From Fukushima

福島県出身の若者が福島県の魅力を発信。学生が挑戦できる環境を提供し、福島県の未来を担う人材を育成する活動に支援

一般社団法人 HAMADOORI13

若者応援事業「HAMADOORIフェニックスプロジェクト」主体実施における支援

インター宙ぼレーション

気仙沼市小泉地区における星空観望会への支援

一般社団法人田部井淳子基金

東北の高校生たちと夏休みに富士山に登り、自然の素晴らしさを体験してもらいながら挑戦する力や仲間と協力する力などを高める活動を支援

株式会社ホリプロインプループメントアソシエーション

ヴォイストレーニングを通じて夢や目標の達成サポートする事業への支援

小牛田高等学園フラダンス部

フラダンス部の活動を支援するとともに、財団への募金活動をしていただく相互支援を実施

魂に響く ギフトコンサートの会

音楽の力で福島県内の子どもたちの心のケアを行う活動を支援

団体概要

みんなで
がんばろう
日本

団 体 名 公益財団法人 子ども未来支援財団

設 立 日 2011年6月14 日 人 員 構 成 評議員6名、理事7名、監事2名

評 議 員 寺 島 実 郎 一般財団法人 日本総合研究所 会長

村 井 純 慶應義塾大学 教授

藤 原 和 博 教育改革実践家

小宮山 宏 株式会社 三菱総合研究所理事長

中村 伊知哉 iU(情報経営イノベーション専門職大学) 学長

青 野 史 寛 ソフトバンク株式会社 専務執行役員 兼 CHRO

代表理事 秋 山 忠 正

専務理事 池 田 昌 人 ソフトバンク株式会社 コーポレート統括 CSR本部 本部長

理 事 佐 藤 大 吾 NPO法人ドットジェイピー理事長

中 村 聡 宏 立教大学スポーツウエルネス学部 准教授、一般社団法人日本スポーツマンシップ協会 代表理事 会長

吉 田 千 亜 株式会社前田屋 代表取締役社長

前 田 博 隆 株式会社前田屋 代表取締役社長

高 橋 ゆ き 株式会社ベアーズ 取締役副社長

監 事 大 城 聡 東京千代田法律事務所弁護士

大 橋 智 哉 税理士法人 山田＆パートナーズ シニアマネージャー

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

※2024年8月時点の役員情報となります。

2023年度 財務報告

2023年6月1日から2024年5月31日まで

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	11,007	13,230	△ 2,223
特定資産受取利息	11,007	13,230	△ 2,223
受取寄付金	380,135,520	304,493,420	75,642,100
受取寄付金	380,135,520	304,493,420	75,642,100
雑収益	9,312,512	13,317,460	△ 4,004,948
受取利息	1,071	775	296
助成金返金益	4,389,799	9,041,240	△ 4,651,441
寄附金返金益	4,921,642	4,272,445	649,197
その他雑収益	0	3,000	△ 3,000
経常収益計	389,459,039	317,824,110	71,634,929
(2) 経常費用			
事業費	389,457,968	255,820,335	133,637,633
旅費交通費	2,318,270	1,563,981	754,289
賃借料	5,958,660	5,958,660	0
業務委託費	8,344,195	6,406,641	1,937,554
支払助成金・支払寄附金	371,290,032	239,801,371	131,488,661
まなべる基金	43,136,000	36,792,500	6,343,500
子どもサポート基金	140,305,000	101,275,000	39,030,000
子どもサポート基金（能登支援）	2,900,000	0	2,900,000
18 歳まで携帯料金サポート	306,722	332,499	△ 25,777
福島人材育成支援（福島こども未来塾）	8,000,000	10,000,000	△ 2,000,000
東北「夢」応援プログラム	0	8,613,520	△ 8,613,520
起業家応援事業	162,350,000	64,890,000	97,460,000
その他の寄附	14,292,310	17,897,852	△ 3,605,542
その他の事業費	1,546,811	2,089,682	△ 542,871
管理費	32,532,500	29,944,021	2,588,479
給料手当	3,994,908	3,994,908	0
業務委託費	5,783,551	5,971,895	△ 188,344
通信運搬費	3,494,046	2,640,873	853,173
支払報酬	3,604,700	3,505,700	99,000
出向負担金	7,812,451	6,112,173	1,700,278
設備管理金	1,778,148	1,708,412	69,736
その他の管理費	6,064,696	6,010,060	54,636
経常費用計	421,990,468	285,764,356	136,226,112
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 32,531,429	32,059,754	△ 64,591,183
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 32,531,429	32,059,754	△ 64,591,183
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 32,531,429	32,059,754	△ 64,591,183
一般正味財産期首残高	107,826,540	75,766,786	32,059,754
一般正味財産期末残高	75,295,111	107,826,540	△ 32,531,429
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 320,521,462	△ 184,311,963	△ 136,209,499
一般正味財産への振替額	△ 320,521,462	△ 184,311,963	△ 136,209,499
当期指定正味財産増減額	△ 320,521,462	△ 184,311,963	△ 136,209,499
指定正味財産期首残高	1,148,825,850	1,333,137,813	△ 184,311,963
指定正味財産期末残高	828,304,388	1,148,825,850	△ 320,521,462
III 正味財産期末残高	903,599,499	1,256,652,390	△ 353,052,891

2024年8月発行